

令和7年度 地域プロジェクト マネージャー活動報告

地域プロジェクトマネージャー / 肥後おおづ観光協会 事務局長
田邊

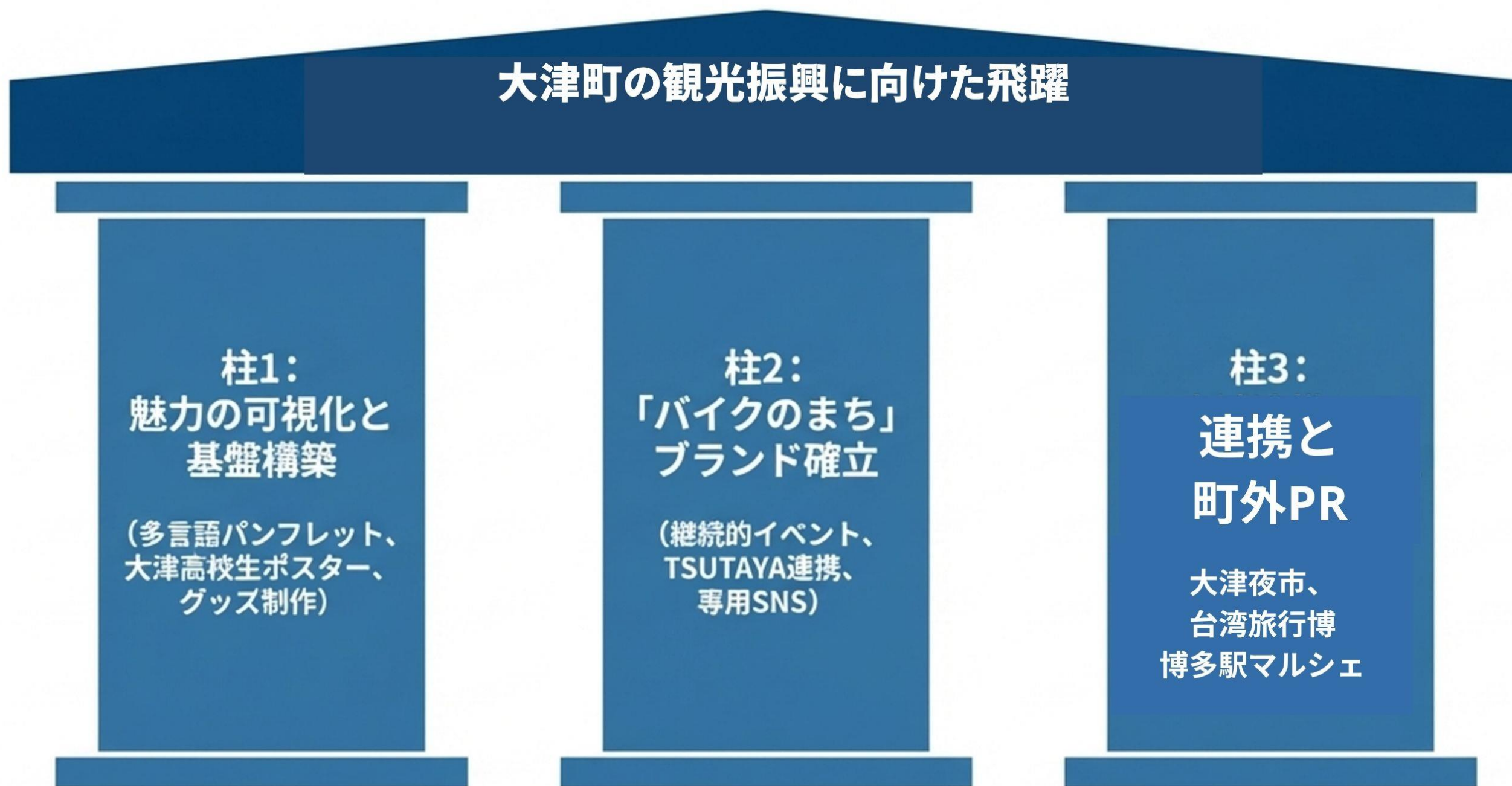
自己紹介

たなべ ひろかず
田邊 洋和



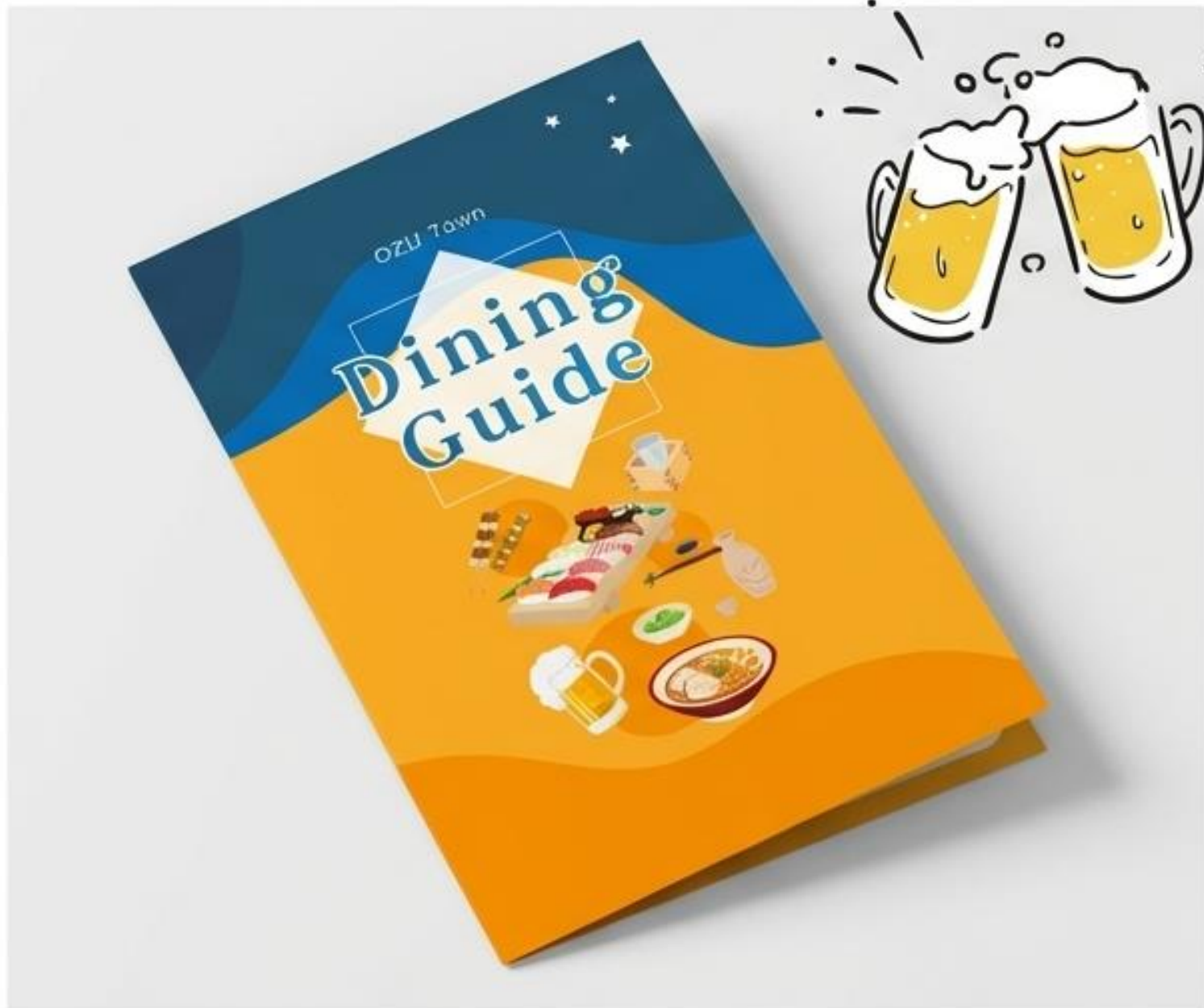
- ・ **元熊本県職員**
- ・ **2022年 県庁を退職**
モトライドツアーズ（株） 設立
- ・ **2025年4月**
大津町地域プロジェクトマネージャー就任
（一社）肥後おおづ観光協会 事務局長
- ・ **2026年3月退職予定**

点と点を線にする：戦略的アプローチの3つの柱



単なる「やったことリスト」ではなく、全事業が有機的に連動し、町のブランド価値と収益力向上へ直結するよう設計・推進しています。

【柱1】 魅力の可視化① 多言語グルメマップの創出



発行部数

日本語

5,000部

英語

2,000部

繁体語

2,000部

予算獲得：熊本県観光連盟「受入環境整備費補助金」を活用し、実質的な協会負担を軽減（交付決定済）。

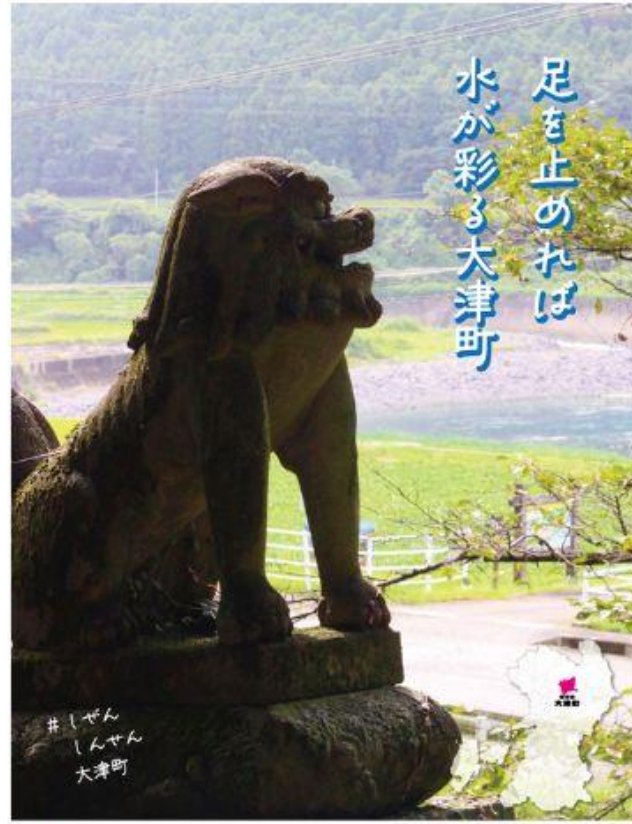
戦略的狙い：ビジネスホテル宿泊者や乗り換え客をターゲットに、町内飲食店への確実な送客と消費（回遊性）を促す戦略的ツール。

【柱1】 魅力の可視化② 大津高校写真部連携ポスター



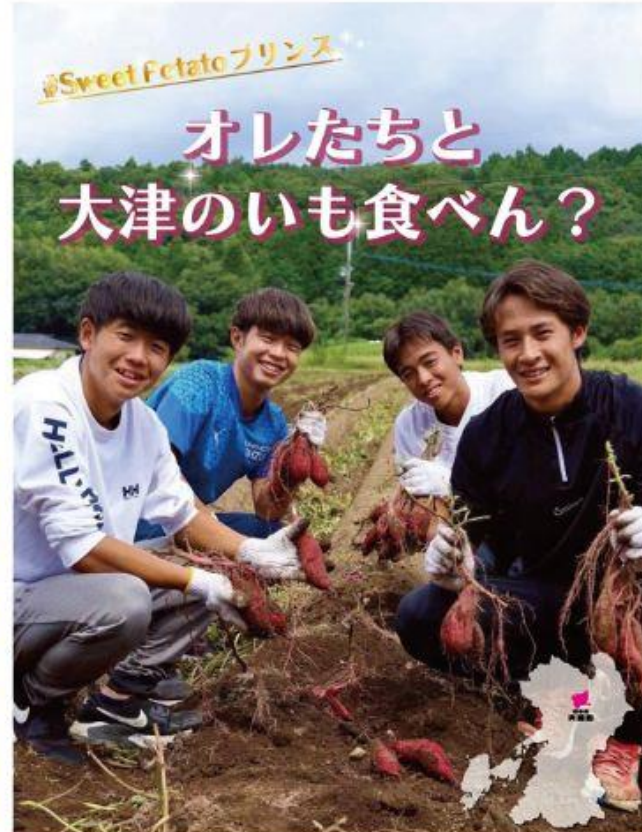
大津町 × 大津高校 × Honda
協賛制作

#167495大津町



大津町 × 大津高校

【大津町観光協会 大津町観光課】
大津町観光協会 大津町観光課
〒520-0801 大津市大津町1-1-1
077-471-1111



大津町 × 大津高校

【大津町観光協会 大津町観光課】
大津町観光協会 大津町観光課
〒520-0801 大津市大津町1-1-1
077-471-1111



大津町 × 大津高校

【大津町観光協会 大津町観光課】
大津町観光協会 大津町観光課
〒520-0801 大津市大津町1-1-1
077-471-1111



大津町 × 大津高校 × Honda
協賛制作

#167495大津町



若者参加型の観光PR。単なる外注ではなく、地元の高校生が「自分たちのまちの魅力」を再発見するプロセス自体が、地域への愛着醸成 (シビックプライド) を生み出しています。

【柱1】 情報発信の多角化：リアル×デジタルの融合作戦

【リアル拠点】



阿蘇くまもと空港観光カウンター。

- 阿蘇への玄関口で年間を通じてパンフレットを配布。
- 約**6,000部**配布済（4～12月）。
- 観光PRグッズ展開（からいもくん・動物缶バッジ等 累計**1,800個以上**作成）。



【デジタル空間】



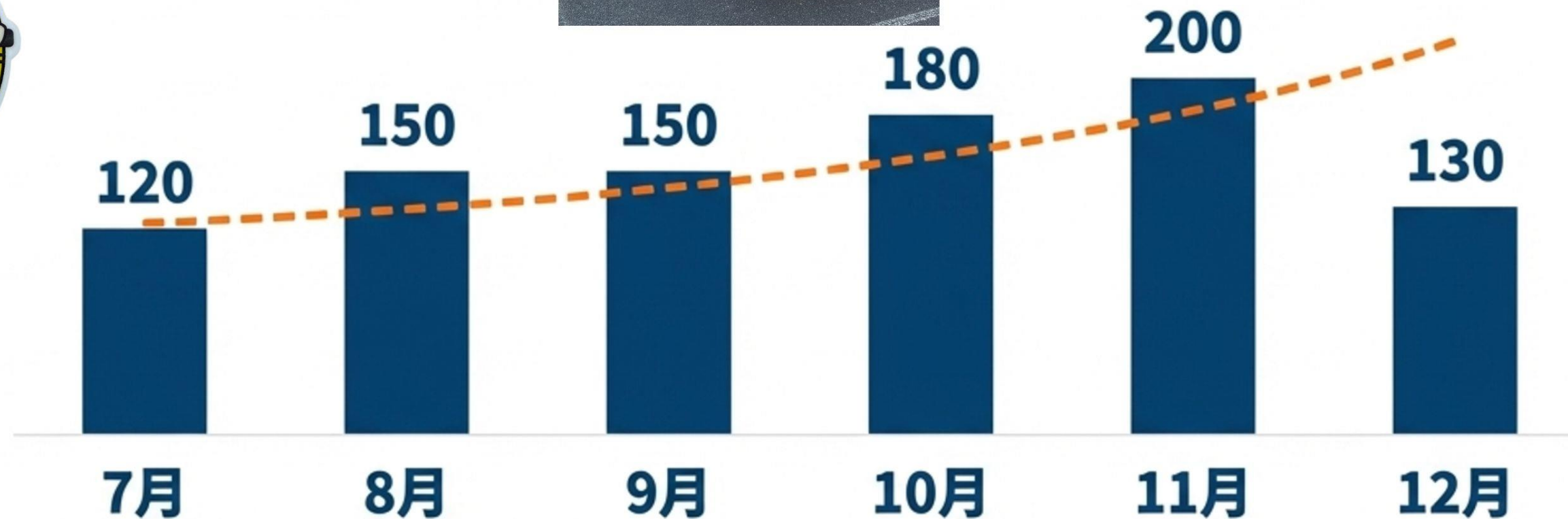
公式SNSの戦略的運用。

- イベント前のリアルタイム発信を強化。
- Instagramフォロワー**1,705人**。
- 新たに「バイク専用Xアカウント（**243人**）」を開設し、熱量の高いライダーコミュニティを直接育成。

[柱2] 「バイクのまち大津町」のムーブメント創出 朝活 Ride Meeting



総参加者数 のべ930名



通過点から「目的地」へ。定期開催を通じてライダー同士のコミュニティが形成され、大津町がツーリングの明確な拠点として認知され始めています。

【柱2】 新たなステージへ：TSUTAYA連動フェアの実現

「Motorcycle Lifestyle Fair」 ～バイクのある、ちょっといい日常～

期間：令和8年3月2日～3月8日

場所：TSUTAYA BOOKSTORE 菊陽



#バイクのまち
大津町

戦略的狙い

- ・ 移動手段から「ライフスタイル文化」としての再提案。
- ・ ホンダ・BMWモトラッドの車両展示、レザー製品販売、リフォーム店（バイクのある住まい）との異業種コラボ。
- ・ 大津高校生制作ポスターのお披露目と連動。

【柱3】 大津夜市

地域コミュニティの活性化と町外からの誘客



- ・ 7/26、9/14、12/21、3/7の4回開催
- ・ 東熊本青年会議所、商工会青年部
肥後おおづ観光協会の共催
- ・ にぎわい創出
地元事業者への直接的な経済効果
- ・ 町外からの誘客が課題
→ 積極的な町外PR

【柱3】 攻めのセールス：広域プロモーション展開



海外・インバウンド

台湾「ITF2025」出展（11/7～11）。沿線自治体パンフレット約**1,000部**配布による直接アピール。



国内・広域

2026年熊本DCに向けた旅行会社向け商談会でのトップセールス（10/24福岡、10/31大阪）。



県内・エリア連携

南阿蘇鉄道沿線ロゲイニング大会の開催（10/5、12/20で計**15**チーム/**38**名参加）。エリア全体での滞在型観光の推進。

組織運営への貢献：自主事業の底上げと収益化

オリジナルグッズ

オリジナルグッズ制作を内製化し、収益性をアップ



レンタルバイク

有料化による事業の持続可能性確立。

| | |
|------|-----------|
| 利用件数 | 108 件 |
| 売上 | 514,600 円 |
| 収益 | 132,100 円 |

肥後大津マルシェ

博多駅前における「肥後大津マルシェ」において、のべ

120人以上

有料ガシャポン抽選会を実施し、収益化を図った。

未来への視座：「稼ぐ組織・DMO」への進化に向けて

稼げる町になるために大切なこと

南小国町 minamiegunimachi の奇跡

DHE株式会社 代表取締役社長
柳原秀哉
Yanagihara Hideya



地域が
「変わりたい」と思えば
奇跡は起きる!

2018年、
熊本県阿蘇郡南小国町にDMO(観光地域づくり法人)設立。
その準備から3年間、同町に併走してきた著者が実践した

「南小国モデル」とは

CGGAF©P192X

3月13日開催 講演会

「観光地域づくりに必要な組織戦略とは？」

講師：柳原 秀哉 氏 (DHE株式会社 代表取締役
/ SMO南小国設立の立役者)

戦略的狙い：今後最も重要となる「DMO化」に向けたキックオフ。先進事例から稼ぐ町になるためのノウハウを吸収し、地域全体の意識改革を図る。



エグゼクティブ・サマリー：数字で見るR7年度の活動インパクト

集客力

ライダーズミーティング総参加者

930名

(全6回累計)

発信力

空港観光カウンターPR配布数

6,000部

(4~12月実績)

デジタル

公式SNS成長

Instagram

1,705人

バイク専用X

243人

地域活性

つつじ祭り、地蔵祭、からいもフェスティバル、ホンダ秋祭り、駅伝大会などを通じ町内外
野外からの誘客を促進。

特に**ホンダ熊本製作所とのコラボレーション**を重視。

「観光で稼ぐ大津町」に向けたロードマップ

地域プロジェクトマネージャーが取り組むべき項目

ホップ

R7年度

基盤整備
観光ビジョン策定
観光素材磨き上げ
ブランド構築

ステップ

R8年度

組織体制強化
旅行商品造成
マネタイズ機能強化
プロモーション

ジャンプ

R9年度

高付加価値化による
更なる収益性向上
観光で稼ぐエコシステムの
完成

ご清聴ありがとうございました